

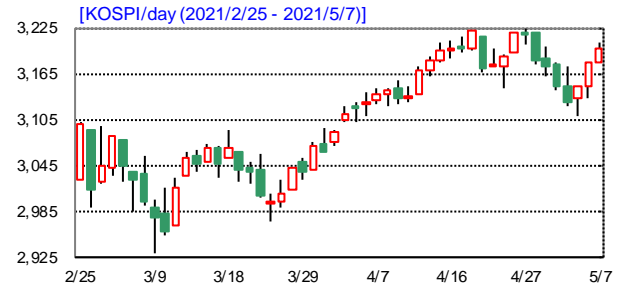


## 【韓国】 総合指数は 1.6%高と 3 週ぶりに反発、今週も楽観ムード続くか

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 1.6%高と 3 週ぶりに反発した。週前半は中国や日本が休場だったこともあり、薄商だった。1 日に発表された 4 月の貿易統計は輸出が 41.1%増と少なくともこの 10 年で最も高い伸びとなったが、韓国政府が 3 日、株式市場の安定化を目的に 1 年超にわたって実施していた空売り規制を解除すると発表し、警戒感が強まった。5 日はこどもの日で休場。週後半は堅調に推移。総じて好調だった韓国や米国の企業決算や米国の週間新規失業保険申請件数の減少を受け、世界景気回復が進んでいるとの楽観的な見方が広がり、投資家心理を強気に傾けた。今週は 12 日に失業率が発表される予定。半導体セクターについては依然として弱気な見方が目立つものの、経済指標などを受けて楽観ムードが続きそうだ。

▼指数チャート

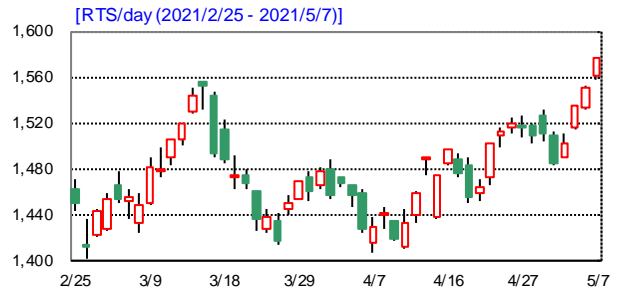


## 【ロシア】 RTS 指数は 6.2%高と大幅反発、今週は米ロ関係の改善期待で堅調か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 6.2%高と大幅に反発。原油高と米ロ関係改善期待に加え、ルーブル高も追い風となった。前週は指数が 1.8%安と 3 週ぶりに反落したが、先週は 3 連休明けの 4 日から 7 日まで 4 日続伸。原油高やバイデン米大統領が米ロ首脳会談の可能性を示唆したことで対米関係改善への期待が支援となった。ルーブルが対ドルで 2%超上昇したことも米ドル建ての RTS 指数を押し上げた。指数は 7 日に 1577.51 ドルで引け、週間の高値で終了。3 月中旬に付けた従来の年初来高値を上回り、昨年 2 月 6 日以来の水準を回復した。個別では、ズベルバンク・オブ・ロシアが 6.8%高となったほか、ノリリスク・ニッケルが 4.9%、ルクオイルも 4.9%、ノバテクが 4.5%上昇した。今週も米ロ関係改善への期待を背景に堅調か。

▼指数チャート

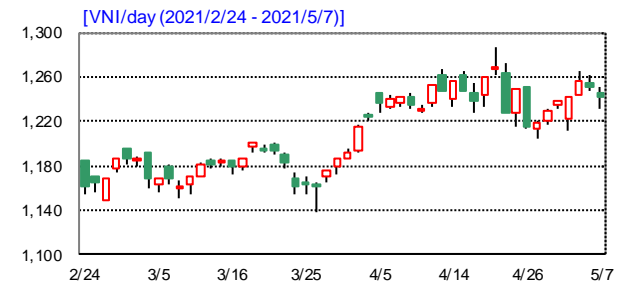


## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で 0.2%高と小幅に反発、今週は底堅い展開か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 0.2%高と反発。景気回復への期待を背景に金融や鉄鋼などの景気敏感株が買い直され、指数を押し上げた。連休明けの 4 日は小幅高で、5 日も金融株が相場をけん引し、5 営業日続伸。週後半は続落したが、週間ではプラス圏で終えた。4 月 20 日に 1286.32 ポイントの過去最高値を付けた指数は 5 日の場中に 1265.93 ポイントまで上昇し、最高値に接近したが、その後には上げ幅を縮めた。個別銘柄では金融のテクコムバンクが 14.8%高と急伸し、ベトインバンクは 7.4%高。鉄鋼のホア・ファットが 4.6%、不動産のノー・バー・ランド・インベストメントが 3.3%上昇したが、食品加工のマサン・グループが 3.1%、金融のベトコム・バンクが 3.0%、不動産のビンホームズが 2.2%下落した。今週は底堅い展開か。

▼指数チャート



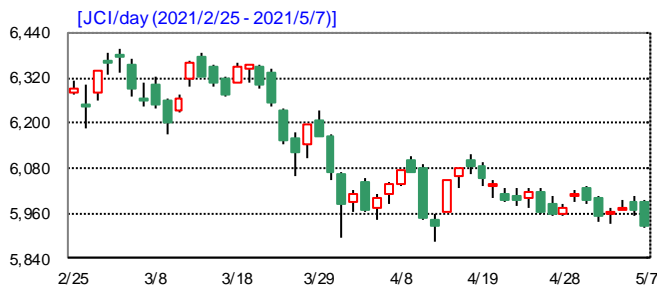


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.1%安、1-3 月期のGDPは前年同期比 0.7%減**

ジャカルタ総合指数は週間で 1.1%安と 3 週続落。週末の下落が下げ幅を広げた。週初の 3 日は前週末から下げ止まらず続落した一方、4 日は金融株とエネルギー株が指数上昇をけん引し、3 営業日ぶりに反発。5 日は 1-3 月期の GDP が前年同期比 0.7%減とほぼ市場予想通りとなり、減少幅の縮小が好感されて続伸した。ただ、週後半は軟調で、6 日に反落すると 7 日は米ドル安ルピア高が進んだものの買い材料視されず、続落して取引を終えている。今週は国内の経済イベントが少ない中、新型コロナウイルスの変異株の感染状況などが指数を左右する展開か。12-14 日は断食明け大祭のため休場となる。

### ▼指数チャート

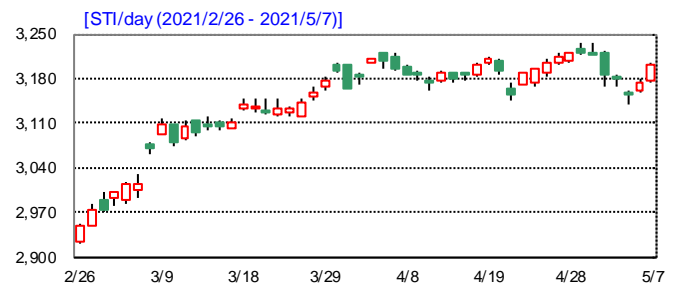


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.6%安、活動制限の再強化を嫌気**

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.6%安と反落。週後半に買い戻されたが補えなかった。週初の 3 日は、国内の新型コロナウイルスの感染者数増加が嫌気され、指数は前営業日比 1.0%安と続落。5 日は前日に政府が感染対策として、活動制限を再強化すると発表した影響で売られた。ただ、6 日に反発すると、7 日は 1-3 月期の純利益が四半期ベースで過去最高だったオーバーシー・チャイニーズ銀行などが買われ、指数は終値で 5 営業日ぶりに 3200 ポイントを回復して取引を終えている。今週は国内の経済イベントが少なく、外部要因に左右される展開か。13 日はハリラヤブアサ（断食明け祭）のため休場。

### ▼指数チャート

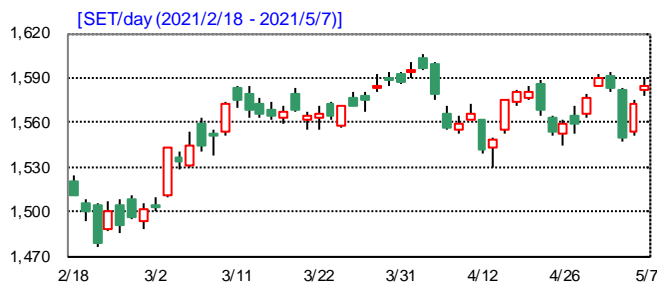


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.1%高、中央銀行が政策金利を過去最低の 0.50%に据え置き**

SET 指数は 3 日間の取引で 0.1%高と小幅ながら 3 週続伸。週末の上昇が奏功した。国民労働日の振替休日と戴冠式の日の連休が明けた 5 日は、新型コロナウイルスの感染再拡大が嫌気され、指数は前営業日比 2.1%安と続落。同日に開催された中央銀行の定例会合では市場の予想通り、政策金利が過去最低水準の 0.50%に据え置かれた。6 日は前日に値下がりした金融株とエネルギー株が買い戻され、指数は 1.5%高と反発。7 日は中国の 4 月の貿易統計が好調だったほか、前日の NY ダウが 2 日連続で過去最高値を更新した効果で続伸している。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が焦点になりそうだ。

### ▼指数チャート

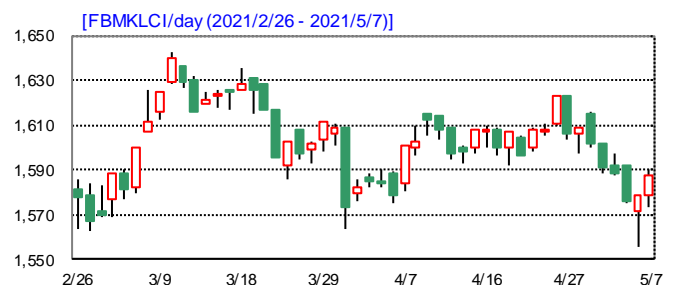


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.9%安、今週は 11 日に 1-3 月期の GDP 発表**

クアラルンプール総合指数は週間で 0.9%安と続落。1 週間を通じて終値で 1600 ポイントを下回った。週初の 3 日は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、都市封鎖への警戒感が広がった影響で指数は続落。その後も 5 日まで売り優勢の展開が続いたが、6 日は 3 月の鉱工業生産が前年同月比 9.3%増と市場予想から上振れした効果などで 5 日ぶりに反発した。7 日はゴム手袋メーカー株が買い戻されたほか、パーム油価格の上昇でプランテーション株も値上がりし、指数は続伸している。今週は 11 日に 1-3 月期の GDP が発表される予定。12 日はハリラヤブアサ前日のため半日立ち合い、13-14 日は休場となる。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合もあります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。